

病院とまちがつながる職業体験

「なぜ?」「どうしたら?」が未来の発明につながる!

8月15日、沼津市少年少女発明クラブの子供たち(小学4~6年生)17名が来院し、「医療のお仕事体験」を行いました。

はじめに、小児科部長の幸田医師から、医師の仕事や腹痛の症例をもとに、問診や検査、診断までの流れをみんなで考えたり、身近な食べ物に含まれるアレルギーの原因について学びました。質疑応答では、「病気が身体に及ぼす仕組みは?」「マラリアは蚊からどのように人へ感染するの?」など、子供たちからたくさんの質問が飛び出しました。その後はグループに分かれ、さまざまな医療職の仕事を体験しました。

看護師ブースでは、血圧測定や聴診器を使った呼吸音・心臓の音の確認に挑戦しました。

作業療法士ブースでは、片腕が不自由な患者さんのための「上着の折りたたみ補助具」をダンボールで製作。「身近なものでも工夫できる」という発見につながりました。



臨床検査技師ブースでは、検体の採取から検査結果が出るまでの工程を体験しました。

臨床工学技士ブースでは、内視鏡検査で使用する機器(スネア)を操作し、粘土で作ったポリープの採取に挑戦。すべてのポリープを採取できた瞬間には、大きな歓声があがりました。

さらに手術室では、手術着や手袋を身につけ、医療スタッフになりきって見学・体験を行いました。今回の体験を通して、子供たちは医療の仕事の多様性や身近なものを工夫することの大切さを学びました。

子供たちが感じた「なぜ?」「どうしたら?」という小さな疑問は、発明の第一歩です。今回の経験が未来の医療や社会を支える新たな発想につながることを願っています。



2026年度 聖隷沼津病院 知ってなるほど! 公開講座 開催のお知らせ

●9月15日(火) 14時~(受付13時30分~)

骨粗鬆症リエゾンサービスチーム

「骨粗鬆症検査のすすめについて」

整形外科 西山 嘉信副院長

看護師 安達 菜摘・理学療法士 高橋 佑香

場所: 今沢地区センター

●9月16日(水) 11時~(受付10時45分~)

「健康体操のすすめ」

リハビリテーション課 理学療法士 原田 哲太

場所: 沼津市第二地区センター



●9月26日(土) 13時30分~(受付13時~)

「がん検診」と「肛門疾患」のお話

外科 佐藤 太一医師

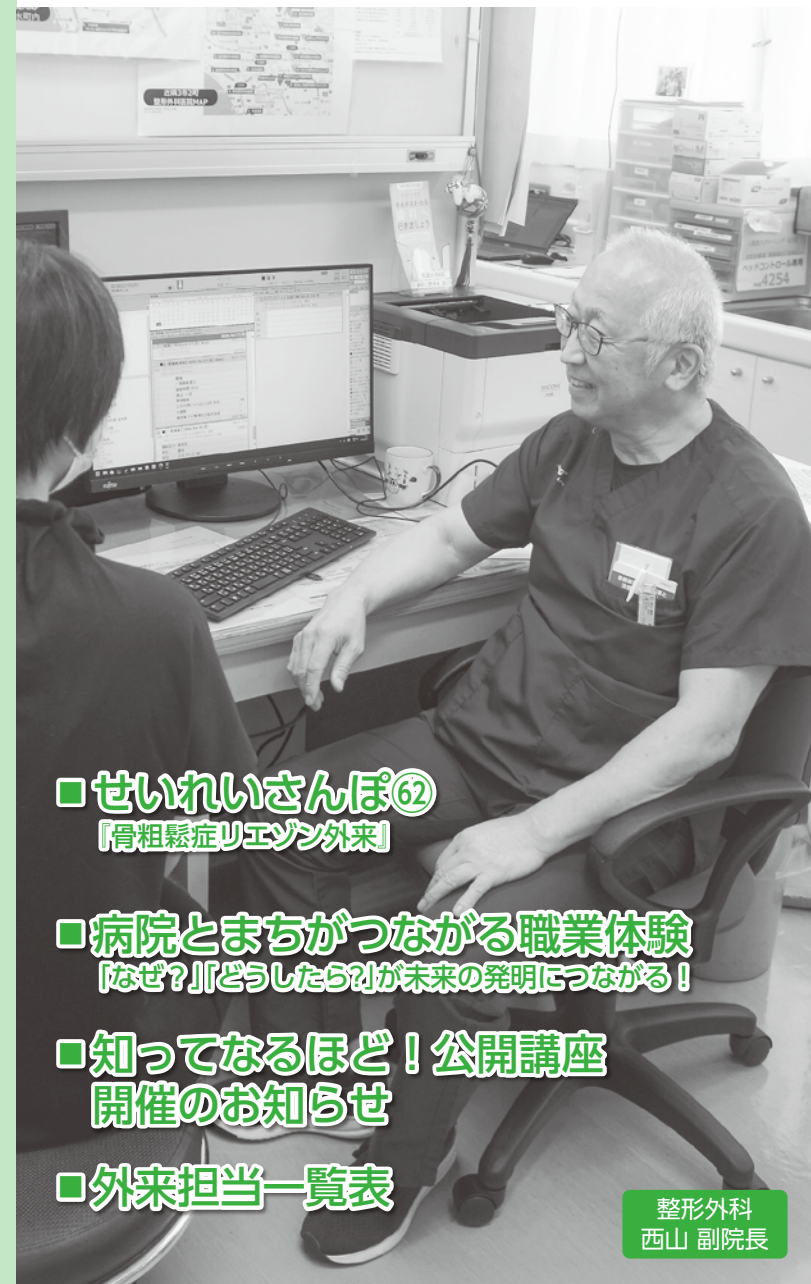
場所: 沼津市第三地区センター

※事前申込制

かぬき地域包括支援センター(055-933-3671)

詳細につきましてはホームページをご確認ください

せいの通信 Numazu



■せいのさんぽ⑥
「骨粗鬆症リエゾン外来」

■病院とまちがつながる職業体験
「なぜ?」「どうしたら?」が未来の発明につながる!

■知ってなるほど! 公開講座
開催のお知らせ

■外来担当一覧表

整形外科
西山 副院長



TEL.055-952-1000

FAX.055-952-1001

〒410-8555 沼津市本字松下七反田902-6

<https://numazu.seirei.or.jp/hospital/>



骨粗鬆症 リエゾン外来

骨粗鬆症は「沈黙の疾患」といわれ、痛みなどの自覚症状がほとんどないため、骨折して初めて、自分が骨粗鬆症であることを知る方も少なくありません。

日本全国で骨粗鬆症を有する方は約1,590万人いるといわれていますが、実際に治療を受けている方は約30%にとどまっています。また、骨折をきっかけに治療を開始しても、痛みが治まると治療を中断してしまうケースも多くあります。

当院では、骨粗鬆症の治療継続を支援し、骨折を防ぐための取り組みを医師・看護師・理学療法士などの専門職が連携し、二次性骨折リスクの評価を行うことで再骨折の予防に努めています。

対象となる方には、骨折後から6か月、1年、2年のタイミングで骨粗鬆症リエゾン外来(予約制)を受診していただき、骨の状態の評価や治療薬の選定、栄養相談、自宅でできる自主トレーニングの紹介などを行っています。

骨の強度は20歳頃にピークを迎え、その後、年齢とともに徐々に低下していくため、女性は閉経後、男性は70歳頃から骨密度を測定することが推奨されています。骨折してしまう前に、まずはご自身の骨の状態を知ることが重要だと考えています。

骨の健康状態を確認するため、必要に応じて血液検査、一般撮影、骨密度測定などを行い、一人ひとりの状態に合わせて食事や運動など日常生活で気をつけることや、今後必要となる治療についてご説明しています。

骨粗鬆症による骨折は繰り返し起こることがあります。再骨折を繰り返すことで思うように身体を動かせなくなり、生活の楽しみが減ってしまうことにもつながります。

あなたも一度、自分の骨の状態を調べてみませんか?

今からでも遅くはありません。

